

# ベリカットは、コミュニケーションツール

## ユーザーが語る、ベリカットの魅力

森重氏がさらに詳細を語る  
インタビュウの様子は  
WEB動画で

### 《ベリカット》導入のきっかけは

日本でアカデミック版が市場投入される、と聞き2年前にベリカットの導入を決めました。現在は、私が担当する大学院の生産システム講義や、研究室での利用を中心に、相当数のライセンスを使用しています。

### 導入後、学生さんからの反響は

これまで体験した学生たちからの評判は、本当に良いですね。実機がなくても、機械加工の一端を、ベリカットを通じて体験できる、とても貴重な機会となっています。学生にとっても、機械加工を手軽にゲーム感覚で体験できるし、とても楽しそう。学生を預かる身としては、ベリカットを通じて、機械加工を「安全」に「楽しく」体験させられる点は、最大の魅力です。研究室に所属する学生の多くも、ベリカットで研究活動の検証を行っています。正直かなり重宝しているソフトです。

### 《ベリカット》の魅力はどこですか

操作性も含め、とにかく「早い」ことでしょうか。動きが本当にスムーズですね。実際に使用する学生達からは「オペレーション画面で、工具や工作機械、ワークの定義を一ツリー上で出来るから、変更把握も容易。使い勝手が良い」とか「各種工作機械のシミュレーションが経験できるのは嬉しい」、「直観的に使えるのが良い」といった声も聞いています。

### 《ベリカット》って、どんなソフトですか

文房具と同じで、必要不可欠なツールですよ。それに、物事を進めるうえでの「コミュニケーションツール」の位置づけも強いと思います。加工に関して、言葉で人に伝えるのはなかなか難しいです。例えば「パスが滑らか」と言っても、実際に目で見て確認してみないとわからないですよ。我々の研究室内では、学生間で成果を伝合うツールとしても活用できています。これは、企業間でも、同様の位置づけで有効利用できるはずですよ。

### 《ベリカット》に今後期待したいことは

ベリカットのユーザー同士がフランクに、かつ活発に議論、情報交換できる場があると良いと思います。「エブリタイム、ユーザー会」みたいなイメージでしょうか。米国では実施されているそうですが、日本でもぜひ広がって欲しいです。実際、知らない機能や便利な使い方がまだまだ、たくさんあるはず。ベリカットを深く知れば知るほど、自分たちの技術力向上に間違いなくつながっていくはずですよ。ぜひそんな場があれば参加したいですね。

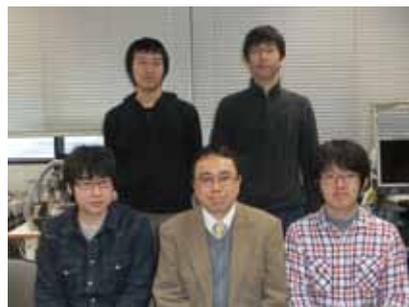


<http://www.uec.ac.jp/>

回答者  
国立大学法人電気通信大学  
大学院 知能機械工学専攻  
准教授 森重 功一 氏

#### ■ Profile

1993年同大学に入学、同大学院を経て、98年に博士号(工学)を取得。卒業後も引き続き大学に在籍し、各種研究活動に従事してきた。2007年より准教授。主な研究テーマは、CAD/CAM や生産システム、知能化工作機械など。精密工学会や日本機械学会、型技術協会では理事を務める。業界では、5軸加工やソフトウェア関連の第一人者としてお馴染み。



現在の研究室には、2013年1月の時点で10名(修士課程5名、卒研5名)の学生が在籍し、製造系ソフトウェアの開発を中心に、コンピュータを利用した知的生産システムの開発に関する研究を行っています。「実際に利用される可能性のない研究は、工学として無意味」という考えをモットーとし、開発した技術の実用化に向けて国内の機械加工メーカーやCAMベンダーなどとも積極的に交流しています。



画像提供：国立大学法人電気通信大学

#### ■ ベリカットとは

航空宇宙産業、自動車、鉄道、金型、家電、発電、重工業など、世界中の生産現場で運用されている工作機械の加工シミュレーションソフトウェア。